

令和5年2月10日

農業改良普及課
技術経営指導関係グループ班長 殿
関係各位

農業総合試験場
普及戦略部技術推進室
(作物担当)

2023 Aichi 麦作管理支援情報 第2号

- 本年産麦作の播種後の気温は、11月第2半旬、12月第1・4・5半旬、1月第5・6半旬を除き、平年並か高く推移しています。
- 作物研究部作物研究室の麦生育診断情報（2月8日現在）によると、茎立期は、「きぬあかり」で11月20日播種までは平年比で2日から5日早く、それ以降の播種では平年並から2日早く、「ゆめあかり」で11月20日播種までは平年比で3日から6日早く、それ以降の播種では平年並から2日早いと診断されています。
- 今後の生育状況に注意しながら、適期に茎立期の追肥作業が実施できるよう指導してください。また、生育状況に応じた追肥を指導してください。
- 今後、気温の上昇に伴い湿害の発生が助長されることが予想されます。明きよの点検、補修を行うことなど、排水対策を徹底してください。

添付資料：令和5年産麦生育診断情報（第2報）愛知農総試作物研究部作物研究室発行

連絡先：農総試普及戦略部技術推進室 電話 0561-62-0085 内線 344

情報提供先：農業経営課技術調整G、園芸農産課稲・麦・大豆G、各農業改良普及課技術経営指導関係G、農業大学校、環境基盤研究部病虫害防除室、同病虫害研究室、作物研究部作物研究室、同水田利用研究室、山間農業研究所稲作研究室、愛知県経済農業協同組合連合会、愛知県農業会議、愛知県農業協同組合中央会、愛知県農業共済組合、愛知県米麦振興協会、愛知県製粉協会